

公立豊岡病院組合立豊岡病院 公的医療機関等2025プラン

平成29年 12月 策定

【2. 今後の方針】 ※ 1. ①～④を踏まえた、具体的な方針について記載

① 地域において今後担うべき役割

但馬圏域の中核病院として高度専門・急性期医療を提供し、救命救急センター、周産期医療センター、認知症疾患センター等の運営を行うとともに、がん診療拠点病院、災害医療センター、へき地拠点病院、第2種感染症指定医療機関等の役割を担う。

[主な診療機能]

1. がん医療：がん診療連携拠点病院
2. 循環器医療：低侵襲性治療（心疾患、脳血管疾患）
3. 糖尿病医療：多職種によるチーム医療
4. 救急医療・災害医療：救命救急センター、災害拠点病院
5. 周産期医療：但馬ここのとり周産期医療センター
6. 精神医療：認知症疾患センター
7. 感染医療：感染症指定医療機関(Ⅱ)
8. 緩和医療：緩和ケア病床
9. へき地医療

② 今後持つべき病床機能

地域医療構想や患者動向を踏まえ病床機能の見直しを行い、但馬医療圏で不足している高度急性期機能の充実を図るとともに回復期機能の導入を検討する。

③ その他見直すべき点

【3. 具体的な計画】 ※ 2. ①～③を踏まえた具体的な計画について記載

① 4 機能ごとの病床のあり方について

<今後の方針>

	現在 (平成28年度病床機能報告)		将来 (2025年度)
高度急性期	32床	→	32床
急性期	431床		381床
回復期			50床
慢性期			
(合計)	463床		463床

※ 一部の急性期病床では救命救急入院料等の特定入院料を取得していないものの、診療報酬点数上高度急性期病床と同等の医療機能を有している。現在、施設設備の整備要望を県に行っており、実現すれば一部の急性期病棟を高度急性期に見直す。

<年次スケジュール>

	取組内容	到達目標	(参考) 関連施策等
2017年度	1病棟を退院支援病棟(地域包括ケア入院料)に転換し、院内の急性期を経過した患者のために利用する。	平成30年3月 届出	
2018年度			
2019～2020年度			
2021～2023年度			

② 診療科の見直しについて

検討の上、見直さない場合には、記載は不要とする。

<今後の方針>

	現在 (本プラン策定時点)		将来 (2025年度)
維持		→	
新設		→	
廃止		→	
変更・統合		→	

③ その他の数値目標について

※「新公立豊岡病院組合改革プラン(2017)」より、数値はH32年度計画値

医療提供に関する項目

- ・ 病床稼働率：91.6%
- ・ 手術室件数：4,000件
- ・ 紹介率：50%
- ・ 逆紹介率：70%

経営に関する項目*

- ・ 人件費率：52%

* 地域医療介護総合確保基金を活用する可能性がある場合には、記載を必須とする。

【4. その他】

(自由記載)